

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人むそう ほわわ品川		
○保護者評価実施期間	R7年1月20日		R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	R7年1月20日		R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療依存度の高いお子さんを主に、障害や疾患の制限をせずに受け入れをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全を確保することは前提にある。医療的ケアがあるお子さんも身体を起こして、身体を動かす活動を取り入れている。</li> <li>・医療的なケアが必要なお子様は、看護師を中心にケアの引き継ぎをしている。福祉職は喀痰吸引3号研修を受講しており、医療職以外も日常のケアの実施し活動の幅を広げている。</li> <li>・成長に伴い医療的なケアがなくなったお子様も、引き続き利用できるように受け入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達特性のアセスメントや構造化、理解しやすい方法での伝え方などを職員が学び、利用者さんが見通しをもち過ごしやすい環境を作る。</li> </ul>
2	1人1人の利用者さんに合わせた支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の発達を促せるようにお子様毎に発達段階のアセスメントを行っている。</li> <li>・様々なものに触れられる身体を作るために、オイルマッサージを行っている。肩甲骨や股関節を動かすマッサージも取り入れ、身体をほぐし循環を良くしている。</li> <li>・大きな動きの遊び(バランスボールや滑り台、ブランコ等)の遊びを介助者と一緒にいき、揺れたり滑ったりする感覚を味わう。これらの感覚を味わう遊びを楽しめるようになると、手の微細運動の向上にも繋がっている。</li> <li>・視線入力やVOCA等のコミュニケーションツールも導入し、利用者毎に意思表示の方法を検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や通所期間により、活動のプログラムや目標とする活動の変化をしていく。</li> <li>・目・首・手が使いやすいようになるために、利用者さんに合った楽な姿勢を獲得できるようにする。理学療法士や作業療法士とも連携する。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どものとの交流の機会が十分でない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の公園へお散歩に出かけることは日常から行っており、公園に遊びにきているお子さんと交流することはある。しかし、保育園や幼稚園との交流の機会がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同年齢のお子さんとの関わり、遊ぶ様子を見たり感じたりすることから、模倣に繋がることも多いと感じる。保育園や幼稚園の園庭開放から参加するようにしたい。</li> <li>・また、保育園や幼稚園の利用を検討するお子様は、ご自宅の近くの保育園との連携も視野に入れて、ご家族と相談していく。</li> </ul>
2	情報発信が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会報を月1回発行しており、その中で日々の活動や実施した訓練等を写真や文章で掲載している。しかし、ホームページやSNSでの情報発信ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の会報だけでは、タイムリーな情報発信ができていない。SNSの利用を検討し、引き継ぎだけでなく日々の様子を知っていただけるようにする。</li> </ul>
3	マニュアルの周知が不十分(事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルを作成し、事業所内でファイリングしているが、その周知ができていない。また、避難訓練は月1回実施しているが、実施する日に通所していない場合には、状況が分かりづらいことになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信とも繋がるが、どこに設置しているかの共有を行う。ほわわの送迎で通所するお子様が大半を占めるため、事業所に来なくても閲覧できるようにする必要がある。</li> </ul>